

ふくい街角景気速報

(平成29年10月分)

調査期間 平成29年10月11日～25日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは53.9となり、前月と比べ1.7ポイント上昇した。また、景気の先行き判断DIは49.7となり、前月と比べ0.9ポイント下降した。

■景気の現状判断DI 53.9 (前月比 +1.7)

- 家計動向関連では、前月に比べ1.2ポイント下降した。
- 企業動向関連では、前月に比べ4.0ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ5.4ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

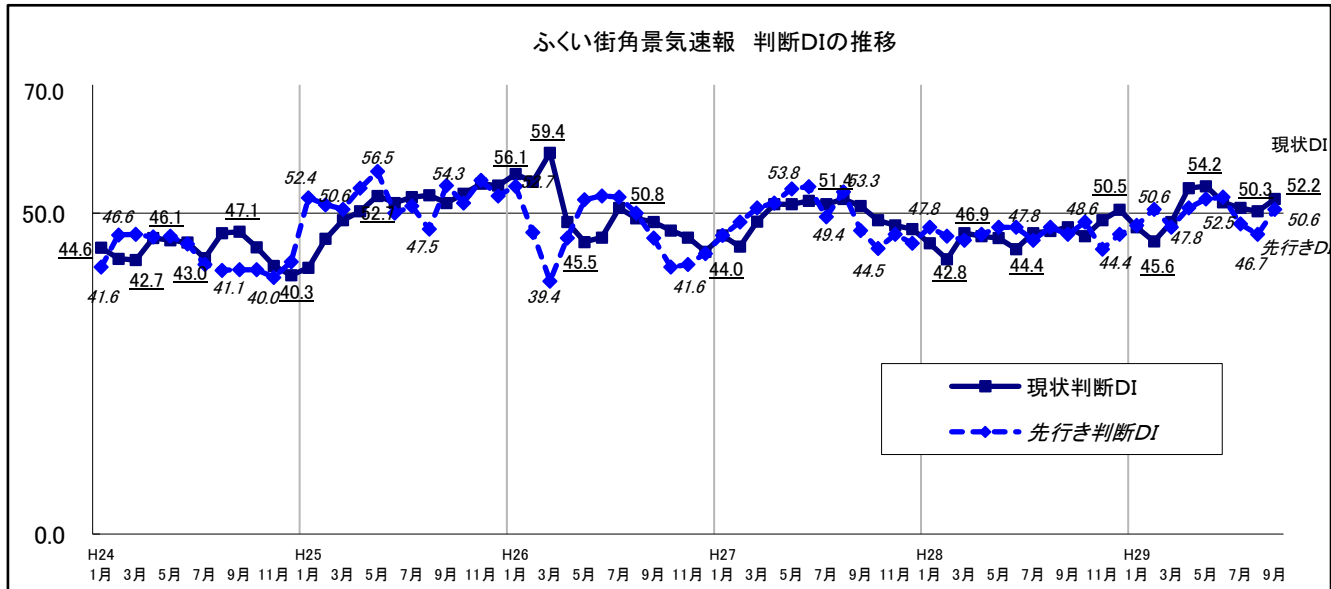
- 客数はほぼ前年並みで推移しているが、客単価が昨年より少し低い状況が続いている。(ショッピングセンター)
- 半導体を中心とした国内景気が好調である。(一般機械製造業)

■景気の先行き判断DI 49.7 (前月比 ▲0.9)

- 家計動向関連では、前月に比べ1.1ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ3.8ポイント下降した。
- 雇用関連は、前月に比べ0.2ポイント下降した。

(意見の主な内容)

- 現在の受注状況からは今後大きな伸びは展望できないが、底堅い受注は今後も続くと予想される。(化学・プラスチック製造業)
- 選挙も終わり、政情が安定すれば、旅行需要は増えると考えられる。先行受注も堅調である。(旅館業)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	9	6	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
	計	100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H29 5	6	7	8	9	10	(前月差)
合計		54.2	51.7	50.8	50.3	52.2	53.9	+1.7
家計動向関連		54.5	48.3	48.9	50.6	50.6	49.4	▲1.2
小売		53.9	50.0	48.4	50.0	53.2	50.0	▲3.2
飲食		75.0	25.0	75.0	50.0	50.0	25.0	▲25.0
サービス		54.5	47.7	45.8	52.3	43.8	52.1	+8.3
企業動向関連		51.5	53.0	50.8	49.2	53.8	57.8	+4.0
製造業		53.3	55.4	47.8	48.9	53.3	57.6	+4.3
非製造業		47.5	47.5	58.3	50.0	55.0	58.3	+3.3
雇用関連		59.6	59.6	57.7	51.9	54.2	59.6	+5.4

○回答別構成比

	年 月	H29 5	6	7	8	9	10	(前月差)
良くなっている		3.3%	2.2%	3.3%	3.3%	4.4%	6.7%	+2.3
やや良くなっている		27.8%	23.3%	20.0%	18.9%	16.7%	14.4%	▲2.3
変わらない		53.3%	55.6%	56.7%	53.3%	64.4%	66.7%	+2.3
やや悪くなっている		13.3%	16.7%	16.7%	24.4%	12.2%	12.2%	+0.0
悪くなっている		2.2%	2.2%	3.3%	0.0%	2.2%	0.0%	▲2.2

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H29 5	6	7	8	9	10	(前月差)
合計		52.2	52.5	48.3	46.7	50.6	49.7	▲0.9
家計動向関連		50.0	51.1	45.0	44.9	47.8	48.9	+1.1
小売		50.0	50.8	45.2	46.0	48.4	48.4	+0.0
飲食		50.0	50.0	25.0	37.5	50.0	62.5	+12.5
サービス		50.0	52.3	47.9	43.2	45.8	47.9	+2.1
企業動向関連		51.5	51.5	48.4	47.0	53.8	50.0	▲3.8
製造業		53.3	52.2	46.7	44.6	51.1	48.9	▲2.2
非製造業		47.5	50.0	52.8	52.5	60.0	52.8	▲7.2
雇用関連		61.5	59.6	59.6	51.9	52.1	51.9	▲0.2

○回答別構成比

	年 月	H29 5	6	7	8	9	10	(前月差)
良くなる		1.1%	3.3%	2.2%	2.2%	2.2%	3.3%	+1.1
やや良くなる		26.7%	18.9%	20.0%	14.4%	17.8%	10.0%	▲7.8
変わらない		53.3%	63.3%	48.9%	54.4%	61.1%	68.9%	+7.8
やや悪くなる		17.8%	13.3%	26.7%	25.6%	17.8%	17.8%	+0.0
悪くなる		1.1%	1.1%	2.2%	3.3%	1.1%	0.0%	▲1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業 動向	福井	一般機械	半導体を中心とした国内景気が好調である。
		嶺南	運輸	関西電力の美浜、大飯の再稼働に向けて作業量が増えている。
	雇用	福井	人材派遣会社	仕事依頼が増加している。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	スーパー	客数は前年からやや減少しているものの、客単価が好調。
		嶺南	商店街	気候的にも秋らしくなり、イベント、旅行シーズンを迎え需要が増える時期。食の気運が高まる時期でもある。
		嶺南	大型小売店	暖房機、エアコン売上が増加している。
	企業 動向	福井	眼鏡	定番的に売り上げが見込める商材が好調であり、例年より少し良いと言う状況。只、サングラスなど季節感のある商材の売り上げがとても不安定な状況。
		福井	不動産・建設	転勤・移動による需要がある。
		坂井	繊維	顧客の状況や受注状況に多少の回復が見られる。
		嶺南	コンクリート製品	原発（関西電力美浜発電所3号機）の工事が動き出したことにより、売上や受注が少し上向きになって来ている。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	県内外の企業からの二次募集の求人票が3ヶ月前に比較して少し増加している。
③変わらない	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	生鮮・総菜・グロスリー等デイリーゾーンは客数・売上が上向き傾向に見えるも、全体の景気の上向きが原因と言い切れず。
		坂井	観光物産店	売り上げが昨年対比で少しプラスになっているが、景気が良くなっているほどのプラスではない。
		坂井	観光・レジャー施設	今夏の天候不順や日照不足等の影響もあり、やや客足は鈍かった。9月期も台風18号をはじめ、天候が不安定なところがあったため、思ったほど伸びなかった。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	給料が上がっていないお客がほとんど。個店を見ると、半数の店が昨対プラス、半数の店がマイナスの状況。
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	売上・買上客数・買上単価等の比較から。
		嶺南	商店街	全般的に景気は上向いているとされるが、消費マインドまで至っていない。
	企業 動向	福井	金融機関	個人消費については、季節商品が不振となるものの、全体では緩やかな持ち直しの傾向が見られる。
		福井	不動産	売上・受注共の対前年同期より増加しているものの、景況感によるものとは言いがたい。顧客の消費性向も特筆すべきものはない。
		福井	運輸	受注は多いもののドライバー不足、備車不足で対応が困難。
		奥越	繊維	スポーツ関連の受注で少し動きがあるものの、衣料関係は概して低調に推移している。受注量的には前年並みをキープできている。
	雇用	福井	学校就職担当者	景気が良くなっているという、実感はわいてこない。学校に対する求人数では、昨年より多いが、製造・建設・飲食等の求人が多い。
		嶺南	就職情報誌	原発の停止により依然として市内の経済活動は低迷しているが、少しずつ新幹線建設工事関係業者の流入が見られる。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	客数はほぼ前年並みで推移しているが、客単価が昨年より少し低い状況が続いている。
		坂井	スーパー	選挙や台風により、客数が大幅に減った。
		嶺南	百貨店、ショッピングセンター	人口減とドラッグストアの出店等による。
	企業 動向	福井	化学・プラスチック	住宅新設着工件数が前年同期比やや減少傾向で推移しており、それに準じて住宅業界の売上や受注も伸び悩み気味である。
		丹南	眼鏡	海外からの受注減、国内専門店の売上ダウン（ロープライスチェーン店のシェア増）

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計 動向	福井	観光物産店	年末年始需要追い込みをかける予定。
	企業 動向	嶺南	運輸	車両手配時に、他県の状況を確認すると仕事量が多いため、全国的に車両が足りていない。
②やや良くなる	家計 動向	坂井	レストラン	年末にむけて団体の貸切予約が入っていることなどから。
		嶺南	大型小売店	年末年始は売上の増加が見込まれる。
		嶺南	旅館	選挙も終わり、政情が安定すれば、旅行需要は増えると考えられる。先行受注も堅調である。
	企業 動向	福井	繊維	ものづくり気運が高まってきている。
		坂井	一般機械	年度末にかけて予算の見通しが立ち受注件数が増えている。
		嶺南	コンクリート製品	原発の工事が動き出したことによる、売上や受注の増加が以後も見込まれる。
③変わらない	家計 動向	福井	小売店	やや下降気味とを感じるが、クリスマスや年末年始とイベントの多い時期になるので、前年と同じくらいの売上は期待したい。
		福井	自動車販売・整備	衆議院選挙は与党が勝利を納め、その結果安倍内閣が継続することになるが、即国民が景気回復を感じる要素は乏しい。
		坂井	スーパー	米国の景気回復による国内景気への好影響はあるものの、所得が改善していないことや、将来への不安から消費はあまりふるわないものとする。
		坂井	観光・レジャー施設	観光レジャー業界にとっては秋の旅行シーズンであるため、当施設では秋から冬にかけて、昨年好評だったイベントをさらに充実させ、前倒しで開催するなど、今後の需要増を期待している。
		丹南	商店街	特別な企画があるわけではなく動向に大きな変化は見込まれない。
	企業 動向	福井	一般機械	建設機械業界は、中国市場の景気回復と排ガス規制特需により、引き続き好調である見通しとなっている。
		福井	化学・プラスチック	現在の受注状況からは今後大きな伸びは展望できないが、底堅い受注は今後も続くと予想される。
		福井	金融機関	個人消費は、回復基調が続くと期待される。海外経済の回復傾向を受け、持ち直しが期待されるが、先行きの不透明さから、弱含みで推移する可能性も否めない。
		奥越	繊維	ユニフォーム関連・自動車関連の受注は底堅く、スポーツ関連も勢いはないが、受注量の面では先行きに問題ないと思われる。
		丹南	電気機械	スマートフォンの新モデルの販売を中心に、様々な顧客からの需要の継続が見込まれる。
		丹南	鉄鋼	季節商品等は売れるだろうが、世界的にも社会情勢不安があり、景気が良くなるとは思えない。しかし、経済的に降下する様相も考えにくい。
		雇用	福井	学校就職担当者
	奥越	百貨店、ショッピングセンター	嶺南地域では、全般的に建設業の求人倍率が高くなっている。敦賀地区では、北陸新幹線関連、小浜地区では、原発関連がその一因と考えられる。	
④やや悪くなる	家計 動向	福井	ビジネスホテル	冬は客足が落ち込み売り上げが下がる傾向にある。
		坂井	小売店	積雪時期となり、県外客の減少が見込まれる。
		丹南	小売店	人手不足と原材料の値上げにより苦しい状況が見込まれる。
	企業 動向	福井	眼鏡	首都圏以外の地方は、販売単価がむしろ下がっていることから。
		丹南	食料品製造	台風21号の被害が大きかったことから消費者の財布のひもが堅くなると考えられる。
		嶺南	食品	これからシーズンとなるかにの輸入物も数量減、相場高が確実となりおり厳しい商戦となる。
	雇用	福井	就職情報誌	大手メーカーの不祥事が続いているため、景気が悪くなるおそれがあるのではないかと思う。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)